

学年・教科・担当者	2年 技術・家庭 家庭分野	堀 奈央
-----------	---------------	------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	健康な食生活② 食品の選択と調理 ・生鮮食品の選択と保存	○健康な食生活を送るために食品についての知識を増やし、情報を自分で判断する大切さを知る。 ○生鮮食品と加工食品の特徴、食品加工の目的と保存の原理、食品添加物、保存方法について知る。(味噌作り) ○食品の安全と情報について、正しい知識や関心を持ち、消費者として安全を求めて行動することができる。
	5	・加工食品の選択 ・食品の安全と情報	
	6	健康な衣生活② 日常着の手入れと保管 ・既製服の選択と購入 ・衣服の手入れ ・洗濯名人の選択	○表示を正しく読み取って既製服を選ぶことができる。 ○衣服の材料や状態に応じて適切な手入れができる。 ○環境や資源に配慮した衣生活をおくるための課題を見つけることができる。 (洗濯機での洗濯の課題を家庭で行う。)
2	9	環境に配慮した衣生活	○布を使った製作物(エコバッグ)の計画を立てて作ることができる。 ○資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考えられる。
	10	持続可能な衣生活をめざして	
	11	・製作の計画 12 ・布を用いた物の製作	
3	1	消費生活と社会 消費者としての自覚 ・販売方法と支払い方法 ・商品の選択と購入	○自分や家族の消費生活を振り返ることができる。 ○契約について理解できる。 ○様々な販売方法を支払い方法の特徴について理解できる。 ○商品を適切に選択、購入、活用することができる。 ○身近な消費者被害の事例と解決方法を理解できる。 ○消費者の権利と責任について理解できる。 ○消費者を支えるしくみについて調べて、他者に啓発することができる。(啓発広告の作成) ○持続可能な社会へ向けての様々な取り組みが行われていることを知り、家庭で実践できることを考えることができる。(エシカル消費)(SDGs)
	2	消費者の権利と責任 ・消費者被害と消費者の自立 ・消費者の権利と責任	
	3	持続可能な消費生活 ・消費行動が社会や環境に与える影響	

評価について	
評価の観点	評価の方法
①知識・技能 生活と技術について理解し、それらに係る技能を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、製作品、実習記録カード
②思考・判断・表現 生活の中から課題を設定し、解決策を構想することができる。実践したことを評価・改善し、表現するなど課題を解決する力を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、製作品、実習記録カード、授業中の活動・発言
③主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に主体的に取り組むことができる。改善したりして、生活を工夫し創造して実践しようとしている。	ワークシート、レポート、授業中の態度、実習記録カード

